

国際室 だより

No. 40

室名の変更

10月1日付の機構改編で多くの部室課の名称が変更になりました。海外室 正確には海外地質調査協力室も新たに国際協力室と名をかえることとなりました。略称は国際室です。

金持ち日本が 国際的にもっと門戸を開くことを要求されているなか 国際室の役割もさらに大きくなってゆきます。皆様方の御支援をお願い致します。

昭和63年度 ITIT 国際シンポジウム始末記

ITIT 事業による63年度の国際シンポジウムは 当所が運営を担当し 東アジアのテクトニクスとエネルギー資源 (Geotectonics and Energy Resources in East Asia) をテーマに 9月27・28の両日 共用講堂において開催された。時期を接して 環太平洋マッププロジェクト (CPMP) のパネル議長会議と CCOP の資源評価作業部会 (WGRA) のワークショップとが 同じ共用講堂を使って開かれ その参加者の大半が ITIT シンポジウムにも合流したため シンポジウムの内容は一段と充実したものとなった。

シンポジウム及びCPMP会合の開催は62年8月 海外室長を委員長に関連部課室長からなる準備委員会の発足により 所の正式行事として承認された。プログラムや参加者の確認のため海外との多量のテレックスのやりとりを経て いよいよ開催期日を迎える運びとなった。

シンポジウムの実施は 9月26日の外国人参加者の成田への出迎えから始った。ITIT 予算による招へい者は9名であるが CPMP 及び WGRA のメンバーもこの日に着く人が多く 30名を超える外国人の到着が重なってしまった。

到着便の延着や変更などででんやわんやであったが幸にして1人の取こぼしもなく全員無事所定の宿泊先へ送りどけることができたが 終わった時は夜の10時を過ぎていた。

明けて27日 シンポジウムは午前10時から 井上所長の開会の挨拶により幕を開いた。次に予定されていた八幡国際研究協力課長による通産省の国際研究協力の紹介は 都合により28日の最後に変更となったが 次に登壇した平山海外室長の地調の活動紹介から 国研課長の話までの間 外国人招へい者9名に日本人3名と CCOP からの参加者1名を加えて 計13件の講演と関連討論が2日間に亘って滞りなく進行した。

今回のシンポジウムのテーマは CPMP の中のジオテクトニクスマップ編集作業部会 (WGGM) と密接に関係しており 東アジア諸国からの参加者は WGGM の各国編集担当者でもあった。29日にはこれらの人達の間でのワークショップが持たれた。午前中は CPMP との合同会合 午後からはシンポジウムでの討論に基づいたマップ編集のための実務的作業を行い シンポジウムの意義と成果をより深める結果となった。

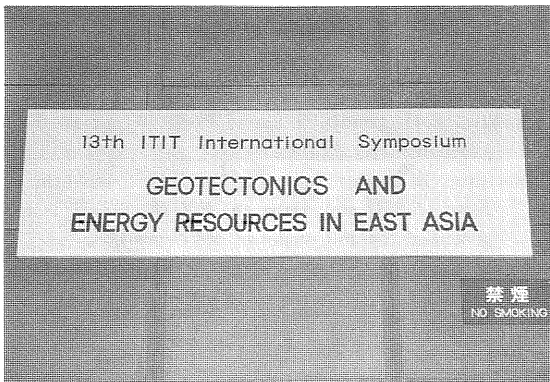


写真1 シンポジウムのテーマ



写真2 会場風景

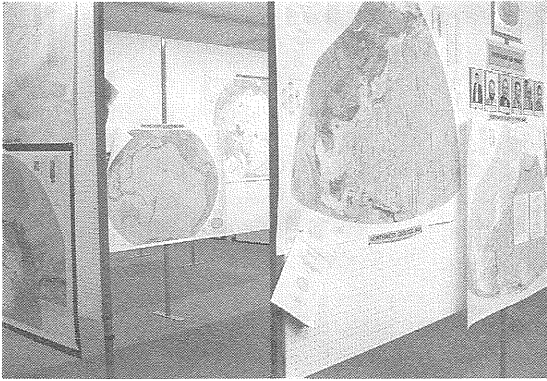


写真3 地図展示

一方 28・29日の WGRA ワークショップ及び29日午後から30日にかけての CPMP パネル議長会議が同講堂内の別室で開催され それぞれに爽りの多い会合を持った。

この間 講堂内の展示スペースを使って 各参加者が持寄った各種地図類が供覧され 休憩時間等を利用しての 関係者間における討論・情報交換の場となった。

27日夜には国研課主催のレセプション また 28日夜は CPMP と地調との共催によるワイン・テイastingが 参加者の交歓の場として設けられた。本院側の都合により 岡沢審議官 国研課長らの来臨が28日であったこと また 28日のパーティは地調中庭での予定が天候のため地調会議室に変更されたことなど 不測の事態はあったものの 参加者の好評を得て 先ずは盛会に終始できたことに安堵したことであった。特に 28日

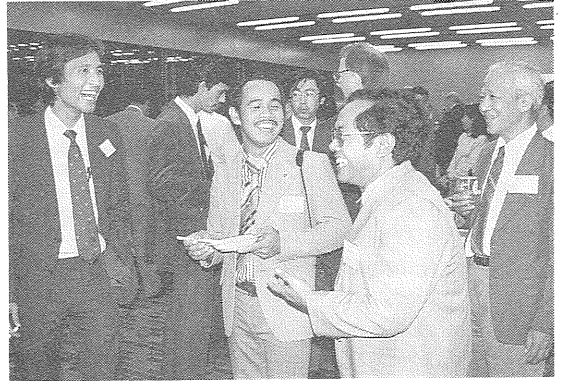


写真4 レセプション・スナップ

のパーティのアトラクションをお願いし 会の盛上げに御尽力頂いた民俗芸能「田中ばやし保存会」の皆様には心から感謝の意を表したい。

以上のような経過により 63年度 ITIT 国際シンポジウムは盛会裏に終了した。今回のシンポジウムを中心に 併催された CPMP 及び WGRA の会合から得られた成果は 当所が推進する国際プロジェクトの発展に大きく寄与するばかりでなく 参加諸国の地質・資源調査研究活動にも多大のインパクトを与える結果となったことを確信する。

今回のシンポジウム開催を承認された本院国研課 貴重な講演を快諾された国内外の話題提供の方々 運営に協力された地調関係職員各位 並びに討論を盛上げて頂いた CPMP 及び WGRA 会合参加の皆様は 本欄を借りて厚く御礼申し上げる次第である。 (遠藤)

CCOP Technical Bulletin の内容紹介 (その4)

CCOP-TB の目次紹介の4回目です。 申し込方法等は 本誌408号 本欄 No. 37を御参照下さい。

TECHNICAL BULLETIN, volume 7, issued November 1973

CONTENTS

- I. Age estimation of subterranean heat sources by surface temperature or geothermal gradient analysis. By M. Hayakawa. pages 1-10, 8 figures
- II. Distribution of heavy minerals in the Phuket and Phang-nga areas, southern Thailand. By P. Isarangkoon, pages 11-21, 9 figures
- III. Plate tectonics and its significance in the search for mineral deposits in western Indonesia. By J. A. Katili, pages 23-37, 5 figures
- IV. Sonobuoy refraction measurements in the Java Sea. By Z. Ben-Avraham, pages 39-53, 18 figures, 1 table
- V. Stratigraphic studies by the Indonesian Petroleum Institute (LEMIGAS). A. R. Udin Adinegoro, pages 55-74, 3 figures
- VI. The status of petroleum exploration in the offshore areas of Indonesia. By Supraptono, pages 75-79, 4 figures, 2 tables

TECHNICAL BULLETIN, volume 8, issued December 1974

CONTENTS

- I. Seismic surveys off the east coast of Korea. By H. U. Schlüter and W. C. Chun, pages 115, 7 figures, 4 maps
- II. Geology and tectonics of South Korea. By Ok Joon Kim, pages 17–37, 7 figures, 3 tables
- III. The tectonic setting of Korea, with relation to plate tectonics. By Sand Man Lee, pages 39–53, 6 figures
- IV. Petroleum prospects of the southern part of the Banda Arcs, eastern Indonesia. By M. G. Audley-Charles and D. J. Carter, pages 55–70, 8 figures
- V. Tertiary basins in Indonesia. By Geology Department, PERTAMINA, pages 71–72, 1 figure
- VI. A decade and a half of geophysical exploration for hydrocarbons in India. By K. N. Khattri and V. C. Mohan, pages 73–83, 7 figures, 1 table
- VII. Organic metamorphism: its relationship to petroleum generation and application to studies of authigenic minerals. By A. Hood and J. R. Castaño, pages 85–118, 21 figures

TECHNICAL BULLETIN, volume 9, issued December 1975

CONTENTS

- I. Energy balance in the earth's crust estimated from geophysical data. By Masami Hayakawa, pages 1–13, 4 figures
- II. Underground gassification of coal. By Shiro Ueki, pages, 15–37, 7 figures, 10 tables
- III. Geological environment of the Indonesian mineral deposits, a plate tectonic approach. By John A. Katili, 7 figures, 1 map
- IV. Neogene diatomaceous sedimentation in East Asia: A review with recommendations for further study. By Robert E. Garrison, 1 figure
- V. Preliminary investigation of silica sand deposits in Thailand. By Eoin H. MacDonald, 5 figures, 3 tables

TECHNICAL BULLETIN, volume 10, issued December 1976

CONTENTS

- I. Evolution of the western Pacific and its margin. By Thomas W. C. Hilde, Seiya Uyeda and Loren Kroenke, pages 1–19, 7 figures (with Comment By Shun-ichi Sano, pages 20–22)
- II. Petroleum geology of offshore areas around the Japanese Islands. By Yasufumi Ishiwada and Katsuro Ogawa, pages 23–34, 4 figures
- III. Magnetic interpretation using interactive computer graphics. BY Katsuro Ogawa and Hiroji Tsu, pages 35–53, 1 table, 12 figures
- IV. A review of oil exploration and stratigraphy of sedimentary basins of the Philippines. By Mineral Fuels Division, Bureau of Mines, 2 tables, 12 figures
- V. Petroleum geology and industry of the People's Republic of China. By A. A. Meyerhoff and J.-O. Willums, 8 tables, 68 figures